

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	NHK交響楽団演奏会 鳥取公演						
目的・内容	日本を代表するオーケストラとして数々の名演奏を行い、世界でも高い評価を得ているNHK交響楽団の鳥取公演。より多くの人にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらう機会を提供し、固定ファンだけでなく新規顧客の開拓を図り、クラシック音楽のファンの裾野を広げる。						
開催日時	平成22年3月9日(火) 開演19:00						
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール						
入場料・参加費 (友の会・団体)	S席:6,000円 (設定なし)	A席:5,000円 (設定なし)	B席:4,000円 (設定なし)	C席:3,000円 (設定なし)			
集客状況	入場者数	1,709名	設定席数	2,000席			
			集客率	85.5%			
事業費状況	予算額	収入	270,000円	支出	496,000円	収支比率	54.4%
	決算額	収入	378,300円	支出	354,408円	収支比率	106.7%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしかった。上質な音楽に触れ、日常から離れとても素敵な時間を過ごせた。 ・クラシックコンサートを生で聞くのが初めてなので楽しみにしていました。やっぱり生はいいですね！はじめから終わりまで感動で鳥ハダがたちました！ ・オーケストラをなかなか聴くチャンスがないので感激です。 ・すごくいい曲で自分でも感動して泣きそうになってしまいました。N響がまた鳥取で演奏してくれると嬉しいです。 ・小学5年生になる娘を初めて演奏会に連れて来ました。とても質の高い音楽にふれ、親子共に満足しています。 ・初めてクラシックの公演に来ました。次回も是非来たいです。 ・吹奏楽部なのでつつい管ばかり聴いてしまうのですが、すごく素敵なおなかいっぱいです。音ってすごく魅力あるものですね、すごい。 ・もう少しポピュラーな曲が選曲してほしかった。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内最高峰の質の高いオーケストラ公演を通じて、クラシック愛好者の拡大を図ることができた。 ・遠のいていたクラシック鑑賞者、また学生等の若年層の新規顧客が本公演において開拓できた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の公演は、幅広い年代から鑑賞いただいたが、20歳代、30歳代の鑑賞者はそれぞれ5.8%、8.5%と低かった。また、男性鑑賞者についても32%と、女性の半分であり、20~30歳代と男性鑑賞者の拡大がやはり課題である。 ・今年度は、NHK交響楽団、イ・ムジチと芸術面でも最高レベルの鑑賞を提供したが、開催地区・時期等・県内文化市場においての需要等、さらなる市場調査の重要性を感じた。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の動員にはあと一歩だが、鳥取の音楽人口と関心の低さからすれば、努力はほぼ報われたと評価したい。 ・知名度のあるオーケストラの公演を行うことで、迷いがちな観客層を呼び寄せることができています。 ・新たな層の開拓については一定の成果があったと認められる。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽の底辺拡大には、幼年や生徒を含めた教育段階からの育成が必要である。 ・今後は中・高の音楽教員とも連携を取り、音楽の授業の一環としてN響レベルの演奏を鑑賞してもらうことも考えてはどうか。また、大学生についても、県内3大学の音楽関連の講義と連動させることも考えて良いと思われる。 ・アンケートにもそこかしこに不満があるとおりであるが、それらはこれまでの財団の「仕事」以上のものが求められていることは十分に感じ取ってほしい。 ・鑑賞事業の目的・目標を効果的に達成する施策を考えていく必要がある。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・N響の公演は、平成23年度にも予定しており、今年度の広報・販売促進を踏まえて効果的に行うとともに、より安価な料金も設定し、オーケストラの公演を気軽に鑑賞できるようにして、クラシック鑑賞者の拡大を図っていく。 ・20~30歳代と男性鑑賞者については、一緒に鑑賞される方(子どもや女性の家族等)や同世代の活動者などへのアプローチを行い、拡大できるように努めていく。また、子どもや学生の育成については、取り組み可能な手立てを検討していく。 ・顧客満足の観点に立って、より良いサービスを提供できるようにしていく。 ・鑑賞事業の目的・目標を効果的に達成する施策を考えていく。 						